



岐阜県内経済情勢

平成28年10月25日

財務省東海財務局
岐阜財務事務所

(問い合わせ先)
TEL (058) 247 - 4112 (財務課)
<http://tokai.mof.go.jp/gifu.htm>

1. 総論

岐阜県内経済は、一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復の動きが続いている。

先行きについては、各種政策効果の進展や雇用環境が改善するなかで、回復の動きが着実に続くことが期待される。ただし、海外景気の下振れについて注視していく必要がある。

【総括判断】

前回(28年7月判断)	今回(28年10月判断)	前回比較	総括判断の要点
一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復の動きが続いている	一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復の動きが続いている	➡	消費は、緩やかな持ち直しの動きに足踏みがみられる。 生産は、一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きがみられる。 雇用情勢は、着実に改善している。

(注) 28年10月判断は、前回7月判断以降、10月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

【各項目の判断】

項目	前回(28年7月判断)	今回(28年10月判断)	前回比較
消費	緩やかな持ち直しの動きに足踏みがみられる	緩やかな持ち直しの動きに足踏みがみられる	➡
生産	おおむね横ばいとなっている	一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きがみられる	↗
雇用情勢	着実に改善している	着実に改善している	➡
住宅建設	前年を上回っている	前年を下回っている	↘
設備投資	28年度通期は増加見通し	28年度通期は増加見通し	➡
公共事業	前年を上回っている	前年を上回っている	➡
企業収益	28年度通期は減益見通し	28年度通期は減益見通し	➡

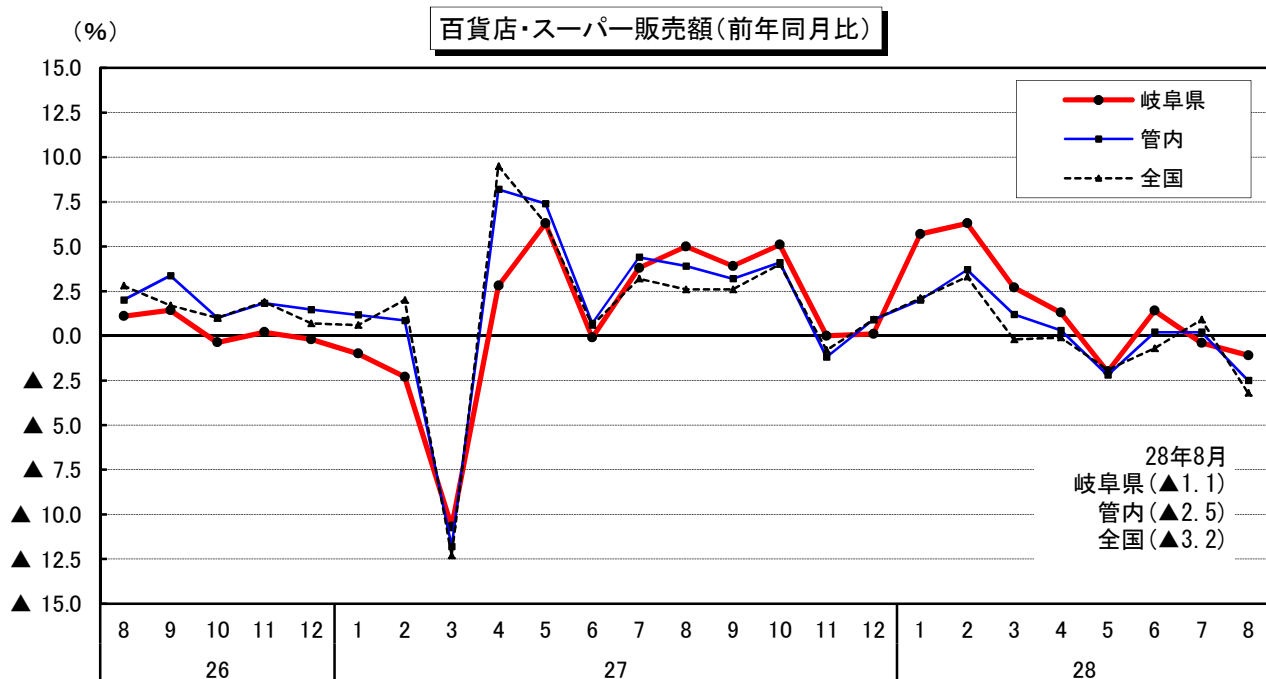
【その他の項目】

- 企業の景況感・・・全産業の現状判断(28年7-9月期)は「下降」超。
- 消費者物価・・・このところ前年比マイナスとなっている。
- 企業倒産・・・件数は前年を上回っており、負債総額は前年を下回っている。

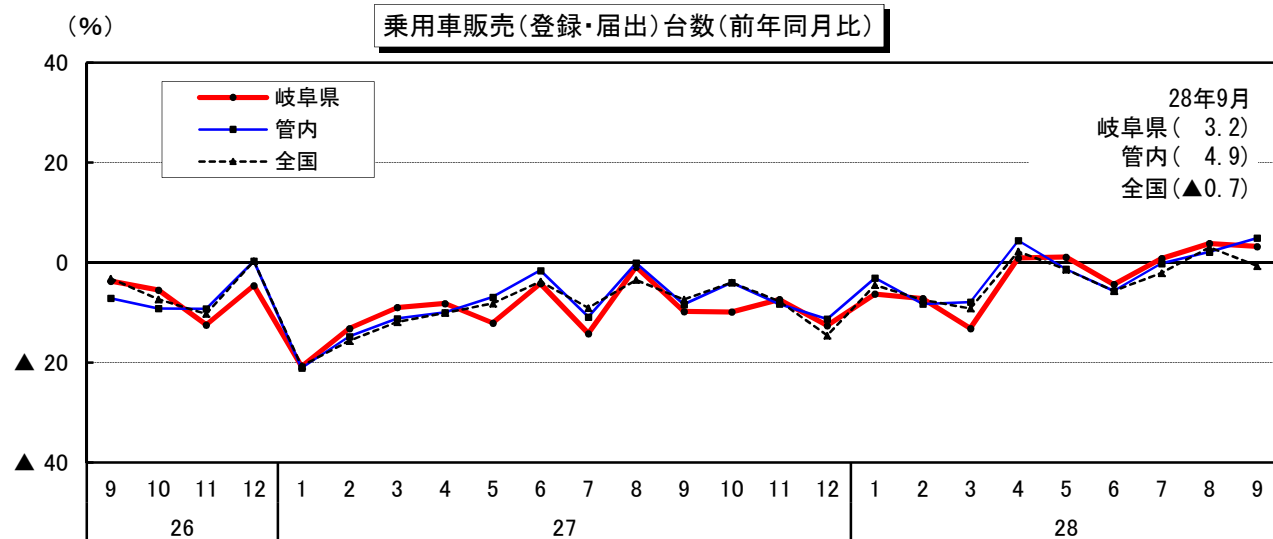
2. 各論 ※グラフ中の「管内」は、特に「注」がない限り東海財務局管内(愛知、岐阜、三重、静岡の4県)を指す。

【消費】緩やかな持ち直しの動きに足踏みがみられる

百貨店・スーパー販売では、主力の飲食料品がおおむね前年並みとなっているものの、衣料品は天候不順等により前年を下回っていることから、全体では前年を下回っている。
乗用車販売台数は、一部に弱さがみられるものの、新型車投入効果等により前年を上回っている。



(資料)経済産業省
(注1)全店ベース (注2)管内とは愛知、岐阜、三重、静岡、石川、富山の6県



(資料)日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

【生産】一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きがみられる

（輸送機械）

自動車は持ち直しつつあり、自動車部品も緩やかな持ち直しの動きがみられることから、全体としては持ち直しつつある。

（はん用・生産用・業務用機械器具）

油圧機器、給排水栓類、金属工作機械ともにおおむね横ばいとなっていることから、全体ではおおむね横ばいとなっている。

（化学）

大宗を占める医薬品を中心におおむね横ばいとなっている。

（電気機械）

電子回路基板はスマートフォン向け、パソコン向けともに弱含んでいることから、全体では弱含んでいる。

（プラスチック）

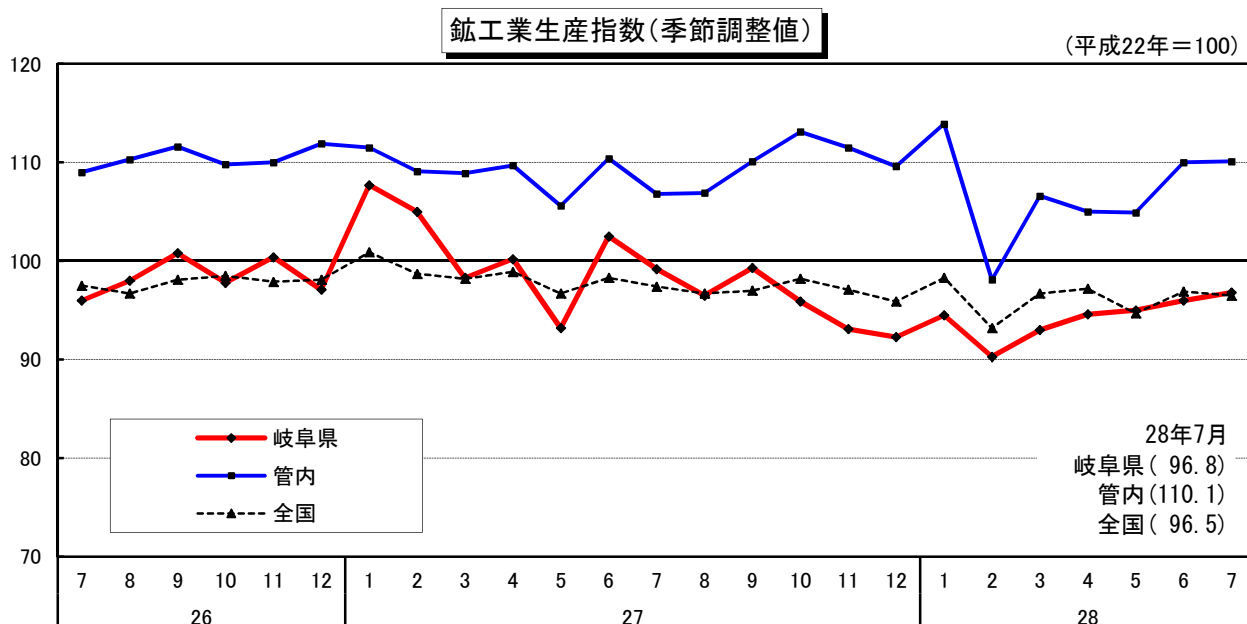
容器はおおむね横ばいとなっているものの、フィルム、機械器具部品ともに緩やかな持ち直しの動きがみられることから、全体では緩やかな持ち直しの動きがみられる。

（窯業・土石）

セラミックフィルタ、モザイクタイルともにおおむね横ばいとなっていることから、全体ではおおむね横ばいとなっている。

（金属製品）

ボルト・ナットはおおむね横ばいとなっている。

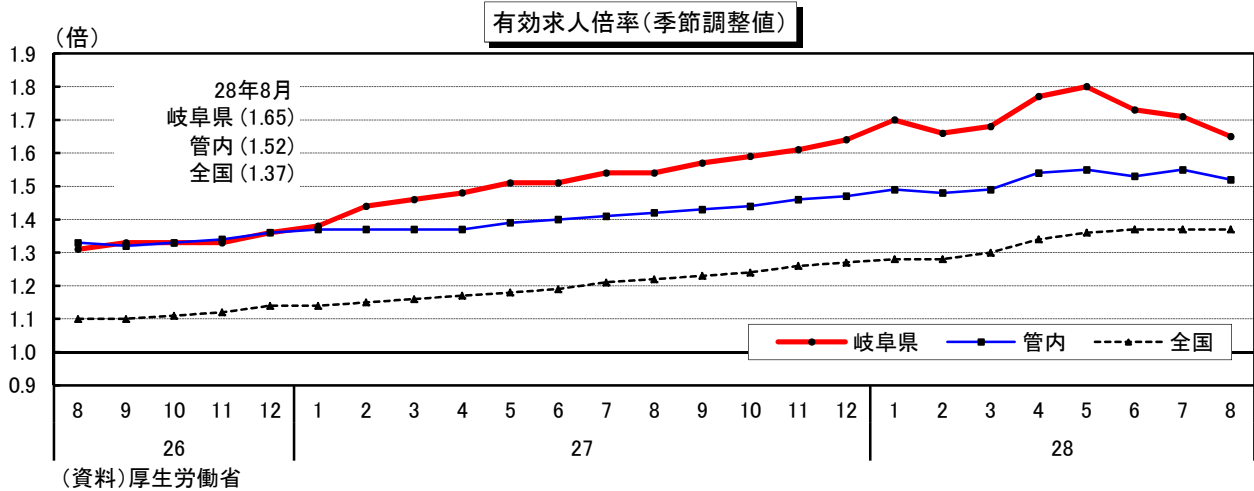


（資料）岐阜県、中部経済産業局、経済産業省

（注）管内とは、愛知、岐阜、三重の3県

【雇用情勢】 着実に改善している

有効求人倍率は、高い水準を維持している。
所定外労働時間は、前年を下回っている。



3. 県内景気に関する地域の声

(消費)

- ・ 8月以降気温の高い日が続いており、ペットボトル飲料やアイスクリームの売行きが好調である。一方で、例年涼しくなる時期に売れるおでんや鍋物商品の動きが鈍い。また、足下では、天候不順による青果品の価格上昇や品質低下により、売上に影響が出ないか懸念している。(百貨店・スーパー)
- ・ 9月は台風の影響で客足が減少したほか、秋物衣料品の販売が本格的に始まったものの、気温が下がらず主力の婦人衣料品を中心に伸び悩んでいる。(百貨店・スーパー)
- ・ 今夏の猛暑効果により、エアコンの売上が前年を上回っている。また、高単価ではあるが、スチームオーブントースターや、床拭きロボットなど付加価値のついた商品の売行きが好調である。(家電量販店)
- ・ 新型車の販売が引き続き堅調であるほか、夏・秋は行楽シーズンということもあり、ファミリー向けにミニバンの受注が増加している。(自動車販売店)

(生産)

- ・ 熊本地震等による生産停止の影響については、臨時出勤や日当たり生産を増加させ、9月末までに減産分を解消する見込みとなっている。(輸送機械メーカー)
- ・ 包装用向けについては、国内外ともに堅調に推移しているものの、他社との価格競争が激化しており、高付加価値品の拡販や原価改善に注力することで採算の改善に努める。(プラスチックメーカー)

(雇用情勢)

- ・ パートアルバイトについて、雇用確保のため時給の賃上げを行っている企業に人手が取られており、人手が不足している。(百貨店・スーパー)
- ・ 中途採用の募集をかけたも、より条件の良い企業に奪われてしまい採用に至らないケースも多いほか、請負先の作業員が頻繁に入れ替わり定着しない。(プラスチックメーカー)

調査の概要

1. 調査内容 前回公表日（平成28年8月2日）以降の概況
2. 調査時期 平成28年9月～平成28年10月
3. 調査対象 県内主要企業及び各種団体
4. 調査方法 各種統計資料の分析、面接調査による。